

# 1 学年より

155名の新入生を迎えた入学式から、早3週間が過ぎました。凛とした先輩の姿を見た新入生歓迎会。全力で楽しませようしてくれた先輩の姿を見た部活動紹介。そんな先輩の姿を見て、先輩に憧れの眼差しを向け、あるべき中学生の姿を学びました。授業も始まり、自然と2分前着席を行い、学習に集中して励んでいます。お昼休みになると元気いっぱい遊び、放課後は仮入部で部活動体験を行うなど、浅草中の学校生活に全力を注ぐ姿があります。遂に始まった中学校生活。浅草中学校で大きく成長してくれることを願っています。

お子様の成長のため、保護者の皆様と手を取り合いながら、邁進して参りたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

# 2 学年より

2年生としての生活が始まりました。同時に、中学校で初めて先輩という立場にもなりました。様々なことに前向きに取り組もうとする生徒が多く見られ、これからの1年間、昨年度以上に大きく成長できることを期待しています。浅草中学校の中心的存在になれるよう、たくさんのお話を学び、吸収してほしいと思います。2年生は、職業体験、霧ヶ峰移動教室、立志式、校外学習など、多くの行事があります。それぞれの行事で様々なことを経験し、大きく成長してもらいたいと思います。1年間、どうぞよろしくお願いたします。

# 3 学年より

義務教育最後の9年目がスタートしました。浅草中学校の最高学年として、生徒には明るく楽しい学校生活を送りつつ、自分の将来を真剣に考え、自己実現に向けて全力で取り組んでもらいたいと思います。3年目に入りますが、今年度も学年目標である『気づき・考え・行動する』を合言葉に、何事にも積極的に取り組み、希望進路に向けて頑張ってもらいたいと思います。生徒の成長のため、3学年教職員一同、生徒と共に頑張っていきたいと思いますので、保護者の皆様の御理解と御協力をいただければと思います。よろしくお願いたします。

# A 組より

令和8年度は新入生5名、転入生1名を迎えて3学年総勢14名となり、5年目のA組がスタートしました。新年度が始まって、1年生は、緊張しながらも先輩たちの姿を見て一生懸命学校生活に慣れようとする様子が見られます。2、3年生は、後輩を優しくサポートしたり、係や委員会の仕事に責任をもって取り組んだり、上級生らしい頼もしい姿を見せてくれています。「新しい学級」でのスタート、出会いを大切に、つながりを深めていけたらと思います。今年度も、「個々のニーズに合わせた柔軟な指導」を軸としながら、生徒たちが集団生活の中で互いに支え合い、自立に向けて一歩ずつ進んでいけるよう、日々の学習や学校行事、学級行事を行っていきたく思います。また、通常の学級との交流活動を通じて、多様な経験を積む中で豊かな人間性や社会性を育てていきたいと考えております。

1年間どうぞよろしくお願いたします。

## 夢を叶える浅草中学校

新年度が始まり3週間が経ちました。新入生155名を迎え、全校生徒449名で令和8年度が始まりました。ここまでの学校生活で、2年生は3年生を支えながら、1年生を引っ張り、3年生は浅草中の中心として頼もしく立派な態度を示しています。それが、1年生の素晴らしい手本となり、とても落ち着いた雰囲気の中で新学期スタートすることができました。今年、1年間の個々の生徒、そして浅草中学校の成長がとても楽しみです。

さて、今年度も学校経営方針のスローガンを「夢を叶える浅草中学校」とし、重点目標を「生徒の自己肯定感を高める」といたしました。

これから生徒たちが生きていく社会は、予測困難な時代であるといわれています。そのような時代の中で生きていくためには、変化に翻弄されず、自ら未来を切り開くための「生きる力」が必要であり、その基盤を築いているのが自己肯定感です。したがって、生徒たちの自己肯定感を高めていくことがとても大切であると考えています。

学校では、自己肯定感を育てるために、日々の教育活動を通じて、結果だけではなくそれまでの努力や工夫などのプロセスを大切に、当たり前だと思えるような小さな成功を認め、失敗しても再度挑戦できるような安心感が得られる雰囲気づくりを心掛けていこうと考えています。

生徒たちが、浅草中学校で学んだ多くのことや培ってきた自信がこれからの自分の夢を叶えるための第一歩となることを願っています。生徒ひとりひとりが夢の実現を目指すための環境づくりに努め、全力で頑張っているその姿を教職員一同応援いたします。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、今までと変わらず、本校の教育活動に御理解と御協力をお願いいたします。

校長室より  
渡辺 英人



## 第36回入学式



## 仁義礼智信

皆さんは街中や乗り物の中で、右のようなステッカーを身に付けた人を見かけたことはありませんか。このマークは「ヘルプマーク」と言って、身体に疾患等があり、その人が、支援や配慮を必要としていることを周囲に知らせるマークです。人は疾患等が無くても「精神的な生き物」です。ですから、いろいろな葛藤(かっとう)があります。浅草中学校には、【仁義礼智信】という、「校訓」があります。例えば【仁】は、「人権尊重の精神に基づき生徒の人権感覚を高める。」【礼】は、「地域を大切に、地域の特色を踏まえ、おもてなしのできる、他者を理解し共に生きようとする。」というような内容です。「ヘルプマーク」を掲げていなくても、皆さん自ら、お互い助け合い、自分が困ったことがあれば仲間に「助けてもらう」。決して、恥ずかしいことではありません。新しく浅草中学校に入学した1年生の皆さん、2年生、3年生の皆さん、「共に生きる」仲間として、ぜひ、この浅草中学校で自己実現に向けて頑張ってください。



## 5月の浅中しぐさ



## 4/9 新入生歓迎会・部活動紹介



### スクールソーシャルワーカー SSW にご相談ください

スクールソーシャルワーカー (SSW) は、生徒の皆さんや保護者の方から、学校や家庭での悩みや困りごとを聞き、福祉に関する専門的な知識・技術を活用して、保護者の方と一緒に解決方法を考える福祉の専門職です。

家庭や学校、地域の関係機関と協力、連携しながら、利用できる制度やサービスの情報提供、家庭訪問などをします。

御相談の申し込みは、学校へお願いします。

